

## Lesson 3 Hatching the Egg of Hope

### 1 原典

本課はさまざまな資料を参考に編集委員会でまとめたのち、ミヤザキケンスケ氏の監修を得た。

### 2 本課の内容 題材

本課では、アーティスト・ミヤザキケンスケを取り上げる。ひとことに「アーティスト」や「画家」といってもそのタイプや得意とするジャンルはさまざまである。ミヤザキが得意とするのは巨大な「壁画」である。ミヤザキは現在、世界中で壁画を残す活動「Over the Wall」を主催している。これまでケニア、東ティモール、ウクライナなどを訪れ、現地の人々とともに大きな壁画を残してきた。また、現地に壁画を残すだけでなく、日本の子どもたちと現地の子どもたちとの交流やワークショップなど、絵を通して世界を繋げ、人々を笑顔にすることをモットーに精力的に活動をおこなっている。

ミヤザキの作品のテーマは Super Happy である。そのテーマの通り、ミヤザキの描く絵の大きな特徴は、人々を圧倒するほどの鮮やかな色彩と見た人を明るく優しい気持ちにさせることである。Over the Wallが訪れるのは、貧困地、紛争地、刑務所、病院などである。一見ハッピーではないところにも、ミヤザキは絵を通して現地に笑顔の花を咲かせるべく活動している。

本課では、ミヤザキが絵を志したきっかけや Over the Wall のような活動を始めた背景、Over the Wall の活動について描いた。ミヤザキのアーティストとして、またひとりの人間としての成長を楽しみながら読み進めていただくと同時に、色鮮やかな写真にもぜひ注目していただきたい。

### 言語活動

#### ● Give It a Try!

Topic “Art as a product or art as a process”

アートの楽しみ方(美術館などで作品を鑑賞する方法または自ら作品を作り上げる方法)について、聞いたり、話したり、書いたりしながら、それぞれのよさや自分の好みについて伝え合う活動をおこなう。

#### ● Another Point of View (269語)

バンクシーの作品や活動に関する文章を読んだあと、作品の写真を見ながら、バンクシーが伝えようとしているメッセージはなにか想像して意見を交換したり、書いたりする活動をおこなう。

### 言語材料

#### ● 本文

| Section | ターゲット文   | 語数  | 新語数 |
|---------|--|-----|-----|
| 1       | L.6 G-1 (関係代名詞): People <b>who</b> passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language.<br>L.17 G-2 (分詞の形容詞的用法): But I was from an ordinary family <b>living</b> an ordinary life. | 209 | 9   |
| 2       | L.8 G-3 (受動態): The children <b>are frightened</b> by the dragon.   | 181 | 13  |
| 3       | L.11 G-1 (関係代名詞): Money and supplies <b>that</b> people donate can be of great help.<br>L.18 G-2 (分詞の形容詞的用法): I saw shell holes everywhere and buildings <b>destroyed</b> by bombs.                                    | 176 | 12  |

|   |  |     |    |
|---|--|-----|----|
| 4 | L.9 G-2 (分詞の形容詞的用法): In our painting, you see people from all over the world <b>sharing</b> the warmth of a huge mitten.<br>L.10 G-1 (関係代名詞)、G-3 (受動態): It is decorated with Easter eggs <b>which</b> represent life and hope. | 165 | 9  |
|   |  | 731 | 43 |

### ● Grammar for Communication

| 文法項目         | 言語活動  |
|--------------|---|
| 1. 関係代名詞     | 関係代名詞を用いて、お気に入りの小説やマンガ、アニメなどについて、話したり書いたりして伝え合う活動をおこなう。 |
| 2. 分詞の形容詞的用法 | 分詞の形容詞的用法を用いて、写真の内容について質問し合ったり、描写したりする活動をおこなう。          |
| 3. 受動態       | 受動態を用いて、おすすめミュージシャンやテレビ番組などについて、話したり書いたりして伝え合う活動をおこなう。  |

### ㊦ 「題材資料」に掲載の項目

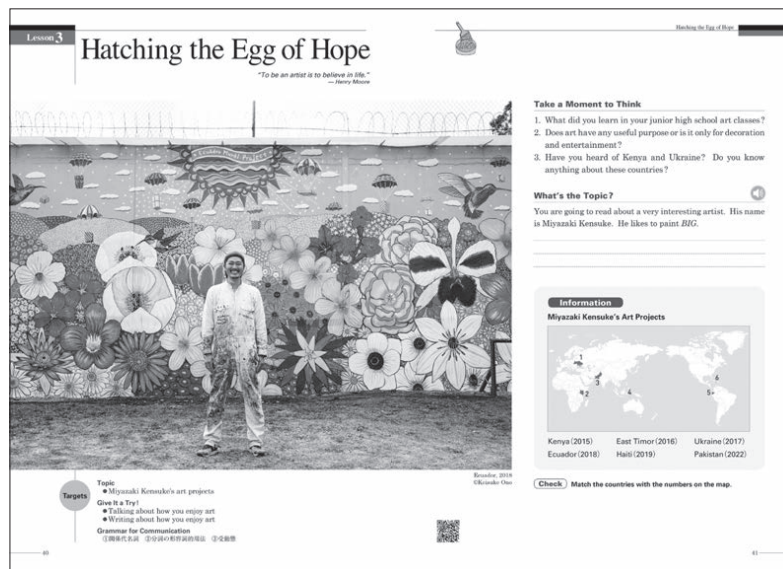
- ミヤザキケンスケ (経歴/高校時代/大学・大学院時代/ロンドン)
- 画家への道 (ケニアのスラム街の壁画プロジェクト/NHK「熱中時間～忙中趣味あり～」/東日本大震災/Over the Wall)
- Over the Wall プロジェクトの実績 (東ティモール/ウクライナ/エクアドル/ハイチ/現在のミヤザキさん)
- バンクシーについて (Another Point of View)

### ㊦ 参考文献および参考ウェブサイト ● は書籍、◎ はウェブサイト

#### ➡ ミヤザキケンスケに関する書籍・ウェブサイト

- ◎ ミヤザキケンスケ オフィシャルウェブサイト MIYAZAKINGDOM  
<https://www.miyazakingdom.com/>
- ◎ ミヤザキケンスケの Over the Wall な世界 (ブログ)  
<https://ameblo.jp/miyazakingdom/>
- ◎ 花咲かじいさんのような絵描きを目指して [前編] (株式会社オカムラ)  
<https://www.okamura.co.jp/magazine/wave/archive/1602miyazakiA.html>
- ◎ 花咲かじいさんのような絵描きを目指して [後編] (株式会社オカムラ)  
<https://www.okamura.co.jp/magazine/wave/archive/1602miyazakiB.html>
- ◎ ミヤザキケンスケ 世界の紛争地の壁に、<スーパーハッピーな絵>を描き続ける (ライフネットジャーナルオンライン) <https://media.lifenet-seimei.co.jp/2018/09/07/13210/>
- ◎ 世界の壁に絵を描き続ける男・ミヤザキケンスケの想い (文春オンライン)  
<https://bunshun.jp/articles/-/7315>
- ◎ ミヤザキケンスケー NEXTYLE (動画) <https://nextyle.tv/nexstar/miyazaki/>

▶扉 (pp.40-41)



### ▶扉の写真

ミヤザキが2018年にOver the Wallの活動で、エクアドルの首都キトの女性刑務所を訪れた際に撮影された写真。同施設には受刑者の子どもを預かる施設があり、母親以外に頼る存在がない乳児や幼児が、母親と共に生活をしている。受刑者である母親とその子どもたちと共同で壁画を制作することで、社会復帰後の彼らの生活を前向きなものにしたいという想いでプロジェクトを実施した。2018年は日本とエクアドルの外交関係100周年の記念年にあたり、このプロジェクトは日エクアドル外交関係樹立100周年事業としておこなわれた。

### ▶扉のことは

“To be an artist is to believe in life.”— Henry Moore

「アーティストになることは人生を信じることだ」—ヘンリー・ムーア

ヘンリー・ムーア (1898-1986) は、20世紀のイギリスを代表する芸術家・彫刻家。世界中にたくさん設置されているブロンズ製の抽象的なモニュメントで有名である。箱根の森美術館にはムーアの彫刻作品が展示されている。

### ▶Take a Moment to Think

①What did you learn in your junior high school art classes?

#### 解答例

- ・ I learned about famous artworks around the world.
- ・ I learned how to paint landscapes (portraits) / make pottery.
- ・ I learned that creativity is very important.
- ・ I learned nothing, but I enjoyed the classes.
- ・ I learned that to make something is very interesting.

② Does art have any useful purpose or is it only for decoration and entertainment?

#### 解答例

- ・ Art is useful. I am always encouraged when I see modern art.
- ・ Art has useful purposes. For example, it cheers up a lot of people.
- ・ Art enriches our mind.
- ・ Art is useful only for rich people. It is useless for other people.
- ・ Art is useless. It can't solve any of our problems.

③ Have you heard of Kenya and Ukraine? Do you know anything about these countries?

#### 解答例

- ・ I've heard of Kenya. It has a lot of wild animals. Someday I'd like to go on a safari there.
- ・ I often hear about Kenya when I watch marathons. There are a lot of fast runners in that country.
- ・ I don't know much about Kenya, just that it is a country in Africa.
- ・ I like mountains. Mt. Kilimanjaro is in Tanzania, but you can see it well from the southern part of Kenya.
- ・ I know one thing about Ukraine. The Chernobyl disaster happened there.
- ・ Maybe Ukraine was controlled by the Soviet Union.
- ・ I'm afraid I have heard nothing about these countries.

### ▶What's the Topic?

You are going to read about a very interesting artist. His name is Miyazaki Kensuke. He likes to paint *BIG*.

At first, Miyazaki wanted to be a famous artist. But later he changed his mind. He realized that he wanted to make people happy.

Most painters paint for people, but Miyazaki paints *with* people. He asks people to join him in painting.

He has painted for—and with—people in Kenya, in Ukraine and in Tohoku after the earthquake.

He says art can make people “super happy.”

#### 訳例

とても興味深いアーティストについて読んでいきます。彼の名前はミヤザキケンスケです。彼は「大きく」絵を描くことを好みます。

当初、ミヤザキさんは有名なアーティストになりたいと思っていました。しかしのちに考えを変えました。彼は人を幸せにしたいと考えるようになりました。

多くの絵描きは人のために描きますが、ミヤザキさんは人「と」絵を描きます。彼は人々に絵画制作に参加するよう呼びかけるのです。

彼はこれまでケニアで、ウクライナで、そして震災後の東北で、人のために、そして人といっしょに絵を描いてきました。

彼は、アートは人々を「スーパーハッピー」にすることができると言っています。

#### 指導のヒント

具体的な指導法についてはLesson 1を参照。

▶▶ Section 1 (pp.42-43)

▶▶ 写真解説

p.43  
上段左：ミヤザキが高校2年から3年に進級する前の春休みに訪れたベルギーの路上で書いたスケッチ。  
【英語訳例】 This is the works that Miyazaki painted on a street in Belgium during his high school spring break.

上段右：ロンドン滞在中にライブペイントで描いた作品のひとつ。社会に対する怒りなどを表現するまわりの路上アーティストに触発され、怒りの感情を強調した作風の絵を描いていたが、のちにこれは自分自身のスタイルではないことに気づく。

【英語訳例】 This is one of the works Miyazaki painted during a stay in London. Inspired by street artists around him, he painted pictures with an emphasis on anger, but later realized that this was not his style.

下段：ロンドンの路上でライブペイントをおこなうミヤザキ。  
【英語訳例】 Miyazaki's painting live on a London street.

訳例  
希望の卵をかえす

ミヤザキケンスケにとって、アートとは世界中の人々と喜びを共有するひとつの手段である。彼は人生そのものを、「自分はひとりの人間として、そしてアーティストとして、一体何者なのだろうか」という問いに対する答えを探す旅であると考えている。

私は絵を描くのがずっと大好きでした。高校の春休み、2週間ベルギーを訪れました。私は路上で絵を描きながら過ごしました。ことばはわかりませんでしたが、道行く人たちは私の描く絵を見ることを楽しんでいるようでした。アートには、人と人をつなぐ力があると実感しました。

大学のとき、私には夢がありました。世界中の誰もが知っている偉大なアーティストになりたいのです。卒業後、有名になることを目指してロンドンへ旅立ちました。

ロンドンでは、ゲストハウスに住み込みでアルバイトをしていました。お金はあまりありませんでした。私の作品を置いてくれるギャラリーはどこにもありませんでした。

路上アーティストの友人たちと同様に、私は怒りを

アートで表現するのがかっこいいと思っていました。友人たちは、社会の不公平さに対して怒りを表現していて、その怒りは本物でした。しかし、私自身はふつうの生活を送るふつうの家に生まれただけです。私に怒りの感情などまったくなかったのです。

ロンドンには2年間いましたが、有名にはなれませんでした。自分を表現するなにか別の方法を見つけなければならぬと決心しました。

▶▶ Summary

The artist Miyazaki Kensuke talks about his journey to find out who he is as an artist.

Miyazaki always loved painting. In high school, he visited Belgium and painted on the street. He learned the power of art to bring people together. After college, he went to London to become famous. It didn't work out. He didn't fit in well with other artists. They were angry about social injustice; he wasn't.

After two years, he decided to look for a different way to express himself.

【訳例】  
アーティストのミヤザキケンスケが、アーティストとしての自分探しの旅について語っている。

ミヤザキはいつも絵を描くのが大好きだった。高校時代にベルギーを訪れ、路上で絵を描いた。アートには人をつなぐ力があるということを知った。大学卒業後、有名になろうとロンドンへ旅立った。しかしうまくはいかなかった。周りのアーティストの中にもうまく溶け込むことができなかった。彼らは社会の不公平さに対して怒っていたが、ミヤザキはそうではなかった。

2年後、自分を表現する別の方法を探することに決めた。

▶▶ Oral Introduction

On a trip to Belgium during high school, artist Miyazaki Kensuke discovered the power of street art. What kind of art do you feel is especially powerful?

Miyazaki dreamed of becoming a well-known artist. Do you have a dream for the future?

After graduating from college, Miyazaki went to London to try to make his dream come true. What kinds of challenges do you think he faced?

解説

タイトル Hatching the Egg of Hope「希望の卵をかえす」

【NW】 hatch「(ひな・卵)をかえす、孵化させる」: to make a young bird, fish, insect, etc. come out of an egg (OALD)

【情報】 本課のタイトルは、Section 4 II.11-13 の本文から取っている。

1 For Miyazaki Kensuke, art is a way to share happiness with people all over the world.「ミヤザキケンスケにとって、アートとは世界中の人々と喜びを共有するひとつの手段である」

【語法】 不可算名詞としてのartは「芸術、美術、美術[芸術]作品」の意。作品を数えるときはa work [piece] of ~ として数え、Many arts are ... としないように注意。美術、音楽、舞踊など芸術全般を総合的に指す場合には、通例the artsの形で表す。e.g. the performing arts「舞台芸術」(WISDOM)

【脚注】 share ~ with ... 「~と...を共有する」  
I shared a room with my sister.  
「私は妹と部屋を共有している」

2 He sees life as a journey to discover an answer to the question:「彼は人生を旅と捉えている、以下の問いに対する答えを見つけるための」

【語法】 see ~ as ... 「~を...と見なす」  
e.g. I don't see his reaction as particularly strange.「彼の反応が特に変だとは思わない」  
(WISDOM)

【NW】 journey「旅、旅行」: an act of traveling from one place to another, especially when they are far apart (OALD)  
語源：1日(jour)の仕事・旅

【語法】 to discoverは、a journeyを修飾する形容詞的用法のto不定詞

【語法】 コロンは、前に述べたことに解説を加えたり、具体例を上げたりするときに用いられる。ここでは、the questionの具体的な中身をコロン以下で述べている。

4 I've always loved painting.「私は絵を描くことがずっと大好きだった」

【語法】 現在完了・継続の用法(L2 G-1)。過去のある時点から現在までずっと続けていることを表す。

4 During a spring break in high school, I visited

意、決心]する」

**語法** express oneself「自分(の言いたいこと)を表現する、(芸術的に)自己を表現する」

▶TF

解答 1.F 2.T 3.F

▼スクリプトと訳例

1. When he was in college Miyazaki Kensuke had no interest in becoming famous. (F)「大学時代、ミヤザキケンスケは有名になることに関心がなかった」

**解説** 1.9に、I wanted people all over the world to recognize me as a great artist. After graduating, I went to London to become famous. とあり、本文の内容と一致しない。

2. In London, Miyazaki thought it was cool to look angry. (T)「ロンドンでは、ミヤザキは怒って見えることがかっこいいと考えていた」

**解説** 1.15にMy street artist friends and I thought it was cool to look angry. とあり、本文の内容と一致する。

3. Miyazaki became famous while he was in London. (F)「ミヤザキはロンドン滞在中に有名になった」

**解説** 1.19にI was in London for two years, but still I wasn't a famous artist. とあり、本文の内容と一致しない。

▶Questionsの解答例

**Q-1** How does Miyazaki Kensuke see life?  
He sees life as a journey to discover an answer to the question, "Who am I as a person and as an artist?"

**Q-2** What were Miyazaki's street artist friends expressing through their work?  
They were expressing their anger at social injustice.

**Q-3** In Belgium, Miyazaki realized the power of art. It was the power to  
a. change the world.  
b. make you famous.  
c. bring people together.

**解説** 1.8にI realized the power of art to bring people together. とあるので比較的容易に選択で

きと思われる。bring ~ togetherとはどのような意味合いか文脈から考えさせると、この表現に対する理解が深まるだろう。

▶Your Reaction

When Miyazaki was just out of college, his dream was to be a famous artist. What is your dream?

**解答例**

- ・ I want to be a doctor. I want to help people and save their lives.
- ・ My dream is to be a dream-maker. I want to help young people find their dreams. That's why I want to be a teacher.
- ・ I want to be the Prime Minister and make Japan richer and stronger.
- ・ I want to succeed my father in the restaurant business. I'm proud of our restaurant.
- ・ I want to be a top athlete and win Gold medals in the Olympics.
- ・ Well, I haven't decided anything about my future yet. I don't know what to do after I graduate from high school.
- ・ I don't have any clear idea about my future yet, but I hope I can work in the field of anime production.

▶▶Section 2 (pp.44-45)

The screenshot shows a textbook page with a reading passage and several images. The text describes Miyazaki Kensuke's time in Kenya, where he painted a dragon on a school wall. The passage includes a question about why some children refused to come to school and another about Miyazaki's motivation. There are two photographs: one of Miyazaki painting a dragon and another of him with children. The page also features a 'Your Reaction' section with a prompt about painting a picture for African children.

▶写真解説

p.45

上段左：ミヤザキがケニアの学校の壁に描いたドラゴン。多くの生徒たちがこのドラゴンの絵を怖がってしまった。

**英語訳例** This is the dragon painted by Miyazaki on the wall of the school in Kenya. Many students were frightened by it.

上段右：怒ったドラゴンの絵を慌てて消し、子どもたちと描き上げたライオンの絵。

**英語訳例** Miyazaki rushed to erase the picture of the angry dragon and drew a picture of a lion with the children.

下段：予定していたすべての絵が完成した記念に撮影した写真。

**英語訳例** This photo was taken after Miyazaki completed all the pictures he had planned.

▶写真に関連したQuestion

Does this dragon look scary to you?

・ No, it doesn't. I know it is an imaginary ani-

mal.

・ No. It looks cool to me.

・ Yes, it does. I don't like to look at it.

・ Yes. It seems very real. I feel scared when I look at it.

・ Yes. I think it has evil power.

▶訳例

ロンドンにいたとき、たまたま見たテレビ番組で、ケニアのナイロビにある孤児やストリート・チルドレンのための学校について知りました。そこにいた子どもたちは、あまり幸せそうには見えませんでした。そのとき、急にケニアに行ってその子どもたちのために描きたいという衝動に駆られました。

実際にそれを実現するのは容易ではありませんでしたが、ついに2006年、ケニアに行き、その学校を見つけ、子どもたちのために絵を描くことができました。私は怒ったドラゴンを描きました。絵のできあがりには満足していましたが、ある先生が不満を漏らしました。「子どもたちが、ドラゴンを怖がっています。学校へ来るのを嫌がっている子もいます」 子どもたちは、ドラゴンのことを巨大なへびだと思っていたのです。彼らはドラゴンが空想上のものだと知りませんでした。

## Wrap It Up!

教科書p.52

**Wrap It Up!**

Review the text and fill in the blanks.

| Kenya  | Japan  | Ukraine  |
|--|--|--|
| Time and place: 2006, Nairobi, a school for ( ) orphans. | Time and place: 2011, Tohoku, after the Great East Japan Earthquake.       | Time and place: 2017, Mariupol, during a war and street children.          |
| •Painting an angry ( ) dragon.                           | •Painting the walls of a school in Sendai.                                 | •Creating a painting based on 'The Magic Mirror' story.                    |
| •Painting ( ) and haubaks with the children.             | •Message: We can hatch the egg of ( ) and bring a powerful life to us all. | •Message: We can hatch the egg of ( ) and bring a powerful life to us all. |

Miyazaki found out: His art has the ( ) to make people "super happy."

Kenya was a turning point in Miyazaki's career. What would he say before and after the turning point? Choose the number from the list and put it in an appropriate space.

Before the turning point ... After the turning point ...

1. I want people all over the world to recognize me as a famous artist.  
2. Sharing the joy of creation can help people suffering from disaster.  
3. I want to express my emotions, such as the anger inside me.  
4. Creating happiness through painting interests me more than anything else.  
5. I like to work in collaboration with other people.

Complete the summary by filling in the blanks.

Miyazaki Kenzuke is trying to discover who he is as a person and as an artist. After college he went to London to become ( ) . When that didn't work, he decided to find a new way to express himself. He began to do large art projects with the help of ( ) . He painted in Kenya, Tohoku, and ( ) . Although he is still not sure who he is as an artist, he has discovered that art has the ( ) to make people ( ) .

[ Ukraine / power / children / happy / famous ]

### ▶A

#### 解答例

**Kenya:** orphans, dragon, lions

**Japan:** barber

**Ukraine:** hope

表最下段: power

### ▶B

#### 解答例

**Before the turning point:** 1, 3

**After the turning point:** 2, 4, 5

#### 訳例

- 世界中の人々に有名なアーティストとして認知してほしい。
- 創造する喜びを共有することは、災害で苦しむ人々を救うことができる。
- 私は自分自身の中に蓄む怒りのような感情を表現したい。
- 絵を描くことで幸福を創り出すことが、ほかのなによりも関心がある。
- 私は他人と協力して仕事をするのが好きだ。

#### 指導のヒント

ここでいう turning point とはなにか。指示文にも

あるように、Section 2 で述べられているケニアの学校での壁画制作が、ミヤザキのアーティストとしてのスタイルが固まる大きなポイントとなる。ll.17-19 Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. がキーセンテンスである。ここを起点に考えると自ずと解答を導き出すことができるだろう。ペアや小グループで答えを確認し合いながら、なぜその選択肢を選んだか説明しあうという、やり取りの活動にも結びつけられるだろう。

1は、ロンドン時代を描いたSection 1のll.9-10 から取った選択肢である。2は、Section 3のll.12-13 から取った選択肢であり、東北のプロジェクト時には、人々と協力しながら作品を作り上げることの楽しさに気づいていた。3は、Section 1の第4パラグラフの内容を言い換えた選択肢。4、5は、Section 2 ll.17-19 Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. ということがばや本文全体からもミヤザキが言うであろうこととして推測することができる。

### ▶C

#### 解答例

- famous
- children
- Ukraine
- power
- happy

#### 訳例

ミヤザキケンスケは自分自身がひとりの人間として、そしてアーティストとしていたい何者であるのか、その答えを見つげ出そうとしている。大学卒業後、彼は有名になろうとロンドンへ行った。その試みがうまくいかなかったとき、彼は自身を表現する新しい道を見出そうと決心した。彼は子どもたちの助けを得ながら大きなアート・プロジェクトを開始した。ケニア、東北、ウクライナで絵を描いた。彼はアーティストとして自分が何者であるのか未だ確信がないが、アートは人々を幸せにする力があるということを発見した。

## Give It a Try!

教科書p.53

**Give It a Try!**

Look at the photos and listen to the dialog.

1. Van Gogh's *Sunflowers* made Jack super happy.  
2. Yumi first saw Louise Bourgeois' spider when she was a kid.  
3. Yumi thinks fireworks are art.

Think, Talk & Write

Task: "Art as a product or art as a process."

Think: Miyazaki says that art can make people "super happy." Is he talking about looking at art, the product, or is he talking about the process of making art?

Talk: Would you like to enjoy art in a museum, or would you like to create works of art yourself? Which do you prefer? And why? Discuss your ideas in small groups.

Functional Language: I would prefer to ~ / In my opinion, ~ / As far as I'm concerned, ~ / This is because ~

Write: Based on the discussion, write a short passage about your choice.

\* What type of art do you like? (e.g. music, painting, pottery, sculpture, etc.)  
\* How would you like to enjoy it?

### ▶本課との関連と活動のねらい

本課ではミヤザキがさまざまな場所で、多くの人々と協同しながら作品を完成させていく様子が描かれており、それがミヤザキのアートのひとつの確立したスタイルであることが読み取れる。一方で、アートの楽しみ方は必ずしもひとつではないはずだ。ミヤザキの考え方をひとつの基準として、生徒それぞれの考えや意見を引き出したい。

### ▶Look & Listen

●Dialog スクリプト(教科書p.192)に掲載しています。Words & Phrases に載せている語句は以下下線を引いています。)

- Yumi: Miyazaki-san says that art can make you super happy. When was the last time you were super happy, Jack?
- Jack: That would be the day I pitched a no-hitter in Little League baseball.
- Yumi: Miyazaki-san is talking about art, Jack. Has art ever made you super happy?
- Jack: No. Not even Van Gogh's *Sunflowers*. I went to the exhibit in Ueno. It was so crowded that the only thing I felt was annoyed. How about you?

5 Yumi: Big sculpture is my thing. My favorite is Louise Bourgeois' spider.

I was just a kid when I first saw it. Mom said I laughed until I was out of breath.

6 Jack: Now that I think about it, last year's Sumida River fireworks made me super happy.

7 Yumi: Are fireworks really art?

8 Jack: I'm not so sure. You'd better ask Miyazaki-san.

#### 訳例

ユミ: ミヤザキさんは、アートは人をスーパーハッピーにすることができると言っているわ。最後にスーパーハッピーだったのはいつ? ジャック?

ジャック: リトルリーグの試合でノーヒットノーランを達成した日かな。

ユミ: ミヤザキさんはアートの話をしているのよ、ジャック。「アート」でスーパーハッピーになったことはある?

ジャック: ないな。ゴッホの「ひまわり」を見たときですらもないよ。上野の展覧会に行ったんだ。とても混んでいて、イライラしかなかったよ。君は?

ユミ: 大きい像がいいかしら。私のお気に入りにはルイズ・ブルジョワのクモよ。初めて見たとき、私はまだ小さい子どもだったんだけど、息が切れるまで笑っていたってお母さんが言った。

ジャック: 考えてみれば、去年の隅田川の花火でスーパーハッピーになったよ。

ユミ: 花火って本当にアートなの?

ジャック: よくわからないや。ミヤザキさんに聞いたほうがいいよ。

#### ●TF

解答 1.F 2.T 3.F

#### 解説

1. Van Gogh's *Sunflowers* made Jack super happy. (F)

4ターン目にNo. Not even Van Gogh's *Sunflowers*. とあり、一致しない。

2. Yumi first saw Louise Bourgeois' spider

when she was a kid. (T)

5ターン目にI was just a kid when I first saw it.とあり、一致する。

3. Yumi thinks fireworks are art. (F)

7, 8ターン目では、ユミもジャックも花火がアートであるかどうか判断できていないので一致しない。

**指導のヒント**

- ①Dialogを聞かせる。必要に応じて、聞かせる回数を増やすなどして、会話内容を理解させる。この時点での新語や表現は巻末AppendixのWord & Phrasesに掲載されているので、リスニング前に確認しておいてもよい。
- ②一度聞かせたあと、解答を与えずにペアで理解を確認させる。2回目を聞かせたあと、巻末のスク립トを参照させ、ペアで答えを確認させるという手順を取ってもよい。
- ③必要に応じてoverlappingやshadowingなどをおこなう。
- ④スク립トを読んで不明点を再度整理し、教科書上のバーコードから音声にアクセスして音読練習(宿題でも可)をさせてもよい。

**▶Think, Talk & Write**

Topic “Art as a product or as a process”

**●A Think**

Miyazaki says that art can make people “super happy.” Is he talking about looking at art, the product, or is he talking about the process of making art?

**指導のヒント**

もう一度本文で読んだ内容を思い出しながら、Talk, Writeへの準備をする。Section 1のベルギー旅行の話、Section 2のケニアでの話、Section 3の東北での話、Section 4のウクライナの話全体、あるいはどれかひとつのセクションについての要点を口頭でまとめて生徒に思い出させながら、Thinkの問いを生徒に投げかける。Thinkの問いに対して、生徒同士ペアで確認させてもよい。

**●B Talk**

Would you like to enjoy art in a museum, or would you like to create works of art yourself? Which do you prefer? And why? Discuss your ideas in small groups.

**指導のヒント**

ここで生徒の身近な観念に落とし込んだお題で、ペアあるいはグループにわかれて、意見交換させる。自分の好きなアートはなにか、自分に合ったアートの楽しみ方はなにかを考えさせる。音楽やダンスなど、絵画以外のアート(pop music, rock music, movies, sculptures, glass artなど)について視点を広げてもよい。What kind of art do you like? How do you enjoy it?のようにやり取りを開始できるとよいと思われる。冒頭に教師がTalkで設定されている問いに対する自分の考えを披露すれば、それが生徒の発話やライティングのモデルになる。

慣れないうちは、質問する役、答える役、(言われたことを)リポートする役などを指定して、議論の活発化を促す。

ディスカッションについては、以下の観点から評価したい。

- ・単純な同意や意見を一言述べるだけでなく、理由や根拠を示したり、相手の発言の一部を捉えたりしながら、ディスカッションの流れの中で、自分の伝えたい内容を英語で伝えているか。
- ・ディスカッションの流れや話し手を意識しながら、聞き役としても話し手の活発な発言を引き出しているか。以下のcommunication strategiesの観点から評価や振り返りをおこなえるとよい。

| Communication strategies (会話を円滑に進めるための技術), Logic (論理性), Expressions (話していた英語のわかりやすさ) etc. |  |
|---|--|
| 1   | 意見を切り出す表現を用いたり、順番を取るための一言があったり、これまでの話やポイントとなっている意見や話題を取り上げたりしながら、自分の意見や感想、伝えたい事実などを伝えていたか。 |
| 2   | Discussionの流れをふまえて、他者の発言を取り上げたり、流れに配慮して話し手に質問したりしていたか。                                     |
| 3   | ジェスチャーやアイコンタクトを使っていたか。   |
| 4   | 言いつ放しにならないよう、わかりやすい理由を述べていたか。  |
| 5   | 使用する表現・語彙はわかりやすかったか。声量は問題なかったか。区切りや強弱を工夫して相手によく伝わるように表現できていたか。                             |

|   |  |
|---|--|
| 6 | ディスカッション全体の流れを作ったり、話をまとめたりすることができた(しようとしていた)か。 |
|---|--|

**●C Write**

Based on discussion, write a short passage about your choice.

**指導のヒント**

書かせる際には1パラグラフ、40～50語程度を目安とし、慣れないうちは、①自分の意見(いわゆるトピックセンテンス)、②その理由、③理由の補強、④結論(または自分の意見の駄目押し)のように、パラグラフの構成を示すとよい。それぞれに意見を書かせたあとは、ペアで書いた内容を発表しあい、質問し合ったり、コメントをし合ったりするなどの活動が想定される。

ライティングの評価規程を示したルーブリック例はp.48を参照。

**解答例**

(教科書p.192掲載の例)

・ My hobby is making clay pottery. I love every step of the process: buying the clay, making a design, and setting up. Best of all, I like working with the clay and getting my hands dirty. That makes me very happy.  
(41 words)

(教科書p.192掲載の例)

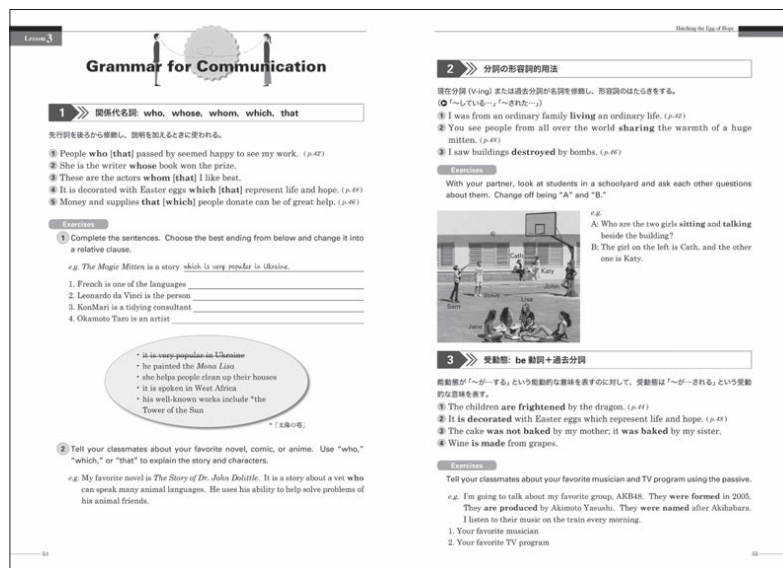
・ I like music. Live music concerts really make me excited. I just love AKB48. I went to their concert in Tokyo Dome with about 50,000 other people. Everyone was screaming and dancing. I was “super happy.”  
(36 words)

・ I am not very good at communicating my images and thoughts to others, so I am not good at creating art. Although I am not an artist, I love art. I enjoy art quietly in a museum or art gallery.  
(40 words)

Lesson 3 | Grammar for Communication

Grammar for Communication

教科書pp.54-55



▶1 関係代名詞

例文

- ① People **who [that]** passed by seemed happy to see my work. (主格)  
「道行く人々は、私の作品を見て喜んで見えた」
- ② She is the writer **whose** book won the prize. (所有格)  
「彼女は、自身の著書が賞を受賞した作家だ」
- ③ These are the actors **whom [that]** I like best. (目的格)  
「彼らは私がかつとも好きな俳優たちだ」
- ④ It is decorated with Easter eggs **which [that]** represent life and hope. (主格)  
「それ(ミトンの絵)は、生命と希望を表すイースターエッグで装飾されている」
- ⑤ Money and supplies **that [which]** people donate can be of great help. (目的格)  
「人々が寄付をする金や生活物資は大きな助けになる」

●Exercises

解答例

- ① 1. French is one of the languages **which is spoken in West Africa.**  
2. Leonardo da Vinci is the person **who painted the Mona Lisa.**  
3. KonMari is a tidying consultant **who helps people clean up their houses.**  
4. Okamoto Taro is an artist **whose well-known works include the Tower of the Sun.**
- ② (教科書 p.54 掲載の例)  
・ My favorite novel is *The Story of Dr. John Dolittle*. It is a story about a vet **who** can speak many animal languages. He uses his ability to help solve problems of his animal friends.  
・ My favorite comic is *Naruto*. It's a story about Uzumaki Naruto. He is a young ninja **who** wants to become the strongest ninja. It's a lot of fun to see how Naruto grows through competing with other young ninjas.

文法の解説

関係代名詞は中学校で既習の名詞を修飾する場合、英語では以下のような方法がある。

- (1) 形容詞を使う。  
an **interesting** book
- (2) 形容詞句を使う。  
a book **on the table**
- (3) 関係節を使う。  
the book **which I bought yesterday**

(1)では形容詞が名詞を修飾し、(2)では形容詞句(前置詞句)が前の名詞を修飾している。日本語と異なり、英語では、2語以上のカタマリが名詞を修飾する場合は、後ろから前の名詞にかかる(後置修飾)。(3)のように、**which I bought yesterday** という節が前の名詞を修飾することもできる。このとき、名詞を修飾するときに必要とされる **which** のような語を関係詞という。また、関係節によって修飾される名詞を先行詞という。関係詞には大別して関係代名詞と関係副詞がある。このレッスンでは関係代名詞を制限用法に限って扱う。

関係代名詞の働きを確認するために、(4a)の2文をひとつの文にまとめた(4b)あるいは(4c)を見てみよう。

- (4) a. This is the book. I bought the book yesterday.  
b. This is the book and I bought it yesterday.  
c. This is the book **which I bought yesterday.**

(4b)は、接続詞andを使って2つの節をまとめ、さらにthe bookを代名詞itで受けている。これでも意味は十分に通じるが、関係代名詞whichを使った(4c)の方がより簡潔に同じ意味内容を表している。whichは、「接続詞」andと同じく2つの節を「関係」づける働きと「代名詞」itの働きを兼ね備えていることから、関係代名詞と呼ばれる。

関係代名詞の種類と格変化は以下の通りである。

| 主格    | 所有格   | 目的格        | 先行詞   |
|-------|-------|------------|-------|
| who   | whose | whom [who] | 人     |
| which | whose | which      | 人以外   |
| that  | —     | that       | 人、人以外 |

以下の場合には、関係代名詞thatが使われる傾向にある。ただし(1)～(3)の場合でも、先行詞が「人」のときはwhoを用いることが多い。

- (1) 先行詞に最上級の形容詞がついている場合。  
This is the most magnificent view that I have ever seen in my life.
- (2) 先行詞にthe first, the second, the last, the

only, the very, the sameなどがついて唯一の対象に限定される場合。

That was the only solution that came to my mind.

- (3) 先行詞にall, any, every, noなどがついている場合(anything, everything, nothingの場合も同様)。

I had nothing that would help me kill time on the train.

- (4) 先行詞が疑問詞whoの場合。

Who that has pride in his ability can stand such an insult?

- (5) 先行詞が〈人+動物・もの・こと〉の場合。

This is a story of three men and a dog that sailed along the Thames in a boat.

補充例文

1. I know a Japanese boy who can speak Spanish very well.
2. I have a friend whose father is a high school teacher.
3. I like dogs whose ears are long.
4. She was the first person whom [who, that] I talked to in the train.
5. These are the letters which [that] were written by the famous writer.
6. Is this the watch which [that] you lost yesterday?
7. This is the hottest summer that we have had in ten years.

▶2 分詞の形容詞的用法

例文

- ① I was from an ordinary family **living** an ordinary life.  
「私は、ふつうの生活を送る、ごくふつうの家庭出身だ」
- ② You see people from all over the world **sharing** the warmth of a huge mitten.  
「あなたには、大きなミトンの暖かさを分け合っている世界中の人々が見えるだろう」
- ③ I saw buildings **destroyed** by bombs.  
「私は爆弾で壊された建物を見た」

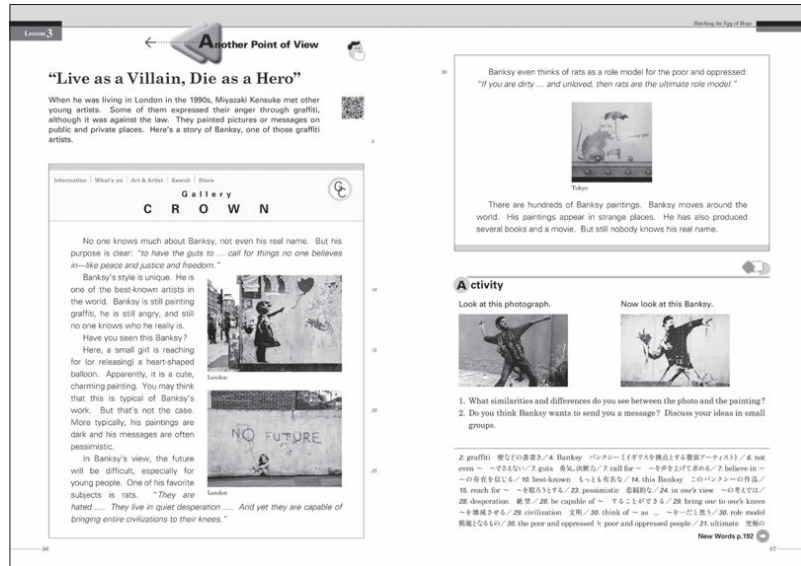
●Exercises

解答例

(教科書 p.55 掲載の例)

Another Point of View

教科書pp.56-57



▶本課との関連

壁画アーティストとして世界的に有名なバンクシーを扱う。明るく鮮やかな壁画を描くミヤザキとはまさに正反対と言ってもよいほど、彼の描く絵からは抑圧された想いや苦しさといったものが伝わってくる。ミヤザキの壁画との違いを考えさせながら、バンクシーはといったどのような人物で、なにを伝えようとしているアーティストなのか知る機会としてほしい。

▶Activityのねらい

バンクシーの作品や活動に関する文章を読んだあと、作品の写真をしながら、バンクシーが伝えようとしているメッセージはなにか想像して意見を交換したり、書いたりする活動をおこなう。

訳例

悪党のごとく生き、英雄のごとく死ぬ

1990年代にロンドンで暮らしていたとき、ミヤザキケンスケは若いアーティストたちと出会った。その中には、違法であるにもかかわらず、壁への落書きで自分の怒りを表現している人たちがいた。彼らは、公共の場所や私有地に絵やメッセージを描いていた。そんな

壁画アーティストのひとりであるバンクシーの物語を見てみよう。

バンクシーについてだれも詳しいことはわからない。本名すらだれも知らない。しかし、彼の目的ははっきりしている。「平和、正義、自由といった、だれもその存在を信じていないことを声を上げて求める勇気を持つこと」である。

バンクシーのスタイルは独特だ。彼は世界でもっともよく知られているアーティストのひとりだ。バンクシーは、いまでも壁画を描き続けており、怒りを抱え、そして未だに彼の正体をだれも知らない。

このバンクシーの絵を見たことがあるだろうか。少女がハート型の風船に手を伸ばして取ろうとしている(あるいは手放している)。明らかにかわいらしい、魅力的な絵だ。これがバンクシーの典型的な絵だと思ってもいいかもしれない。しかしそうではない。もっと典型的な作品は、暗く、悲観的なメッセージを含んでいる。

バンクシーの目的は、特に若者の未来は困難なものに映っている。彼が好む題材はネズミだ。「ネズミは嫌われ者だ。彼らは静かな絶望の中に生きている。それでも彼らは、文明全体を破滅させることのできる能力がある」

バンクシーは、ネズミは貧しい人々や虐げられた人々の模範だと考えている。「もしあなたが汚れて、だれからも愛されずにいるなら、ネズミは究極のモデルになる」バンクシーの絵は何百も存在している。バンクシーは世界中を移動して絵を描いている。彼の絵は奇妙な場所に現れる。数冊本を出版し、映画も一本作った。しかし依然として、彼の本当の名前を知る人はいない。

解説

タイトル「Live as a Villain, Die as a Hero」 「悪党として生き、ヒーローとして死ぬ」

情報 バンクシーの著書(作品集)「Wall and Piece」にあることばの引用である。

NW villain 「悪者、悪党、悪役、ならず者」: the main bad character in a story, play, etc.; a person who is morally bad or responsible for causing trouble or harm (OALD)

語法 hero 「主人公、英雄、ヒーロー」 「英雄」の意味では男女共用で用いるが特に女性をさす場合はheroine。「悪役、かたき役」の意味のvillainの対義語がhero, heroine(主役)である。 語源: 半神半人(demigod)

1 When he was living in London in the 1990s, Miyazaki Kensuke met other young artists. 「1990年代にロンドンで暮らしていたとき、ミヤザキケンスケはほかの若いアーティストたちと出会った」

読解 he = Miyazaki Kensuke 従属節が主節の前に来る場合、主節の中のキーワード(Miyazaki Kensuke)を従属節中で代名詞(he)で受けることもある。

語法 he was living in London のように、進行形を用いると一時的な居住を表す。

語法 in the 1990s 「1990年代に」 1990sはnineteen ninetiesと読み、1990'sとも書く場合もある。

読解 other young artistsは、ミヤザキがロンドンで出会ったストリートアーティストのことを指す(Section 1)。

2 Some of them expressed their anger through graffiti, although it was against the law. 「その中には、落書きによって自分の怒りを表現している人たちがいた、それは違法だったのだが」

読解 them = other young artists

NW graffiti 「(壁などの)落書き」; rude, humorous, or political writing and pictures on the

walls of buildings, trains etc (LDCE) 数える場合はa piece of ~を用いる。通例複数形graffitiを用いるが、まれに単数形にgraffitoを用いる。(WISDOM)

語源: イタリア語

読解 it = graffiti

3 They painted pictures or messages on public and private places. 「彼らは、公共の場所や私有地に絵やメッセージを描いていた」

読解 They = other young artists (graffiti artists)

NW private 「私有の、個人に属する、私用の」; belonging to or for the use of a particular person or group; not for public use (OALD) 語源: 「ひとりにされた」

4 Here's a story of Banksy, one of those graffiti artists. 「これは、それらの壁画アーティストのひとりであるバンクシーの話である」

語法 Here 「ここで、いま」 e.g. Here is the news. 「ここでニュースをお伝えします」(WISDOM)

情報 Banksy 「バンクシー(イギリスを拠点とする覆面アーティスト)」

1990年代、イギリス南西部の港町ブリストルで活動を始めたとき、イギリス出身の男性と見られている。その作風は、可愛らしい絵の中に社会への批判や風刺がこもったものが多く、その表現手段はときに過激である。公共物へ落書きする、あるいは美術館に無断で展示するなど、法律をあえて破ったりトラブルを起こしたりする事例が多くある。

6 No one knows much about Banksy, not even his real name. 「バンクシーについてはだれもよく知らない、本名さえ知らないのだ」

脚注 not even ~ 「～でさえない」 evenによって否定が強調されている。

e.g. You are not even halfway finished yet. 「君はまだ半分も終わってないじゃないか」 (WISDOM)

6 But his purpose is clear: "to have the guts to ... call for things no one believes in—like peace and justice and freedom." 「しかし、彼の目的ははっきりしている。『だれもその存在を信じていないものを求めて声を上げるための勇気を持つこと、